

小栗判官代記下

竹42

842



上英言

後頼朝利氏後の勤王と云ふ

氏家よふて世と

海多ふまき業を

たれは逆よ東海屋の

織首とあつた

あ長の枝室と

操奪とあつた

ふ此頃鎌倉

の暇を一時

に遊ばず

砂塵とあつた者よ

あ一塵のふまよ

一色詮秀

横山先生

あつた

あつた

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

△

つぎ小栗を後と寄せんと
お身よしとと寄せと程の
由事と酒一和し七助を
主後と答を懸せしとた
照天の旗その場の
旗とありてありするが
いと不審
いと不審

小栗判官

く助重よとと
おれせん
一曲どのう
けおひ
まふばらよ



か今
まつと
一と様
おれ
おれ
おれ
おれ

つぎ小栗を後と寄せんと
お身よしとと寄せと程の
由事と酒一和し七助を
主後と答を懸せしとた
照天の旗その場の
旗とありてありするが
いと不審
いと不審



つぎ小栗を後と寄せんと
お身よしとと寄せと程の
由事と酒一和し七助を
主後と答を懸せしとた
照天の旗その場の
旗とありてありするが
いと不審
いと不審

か今
まつと
一と様
おれ
おれ
おれ
おれ



照天姫

六浦の波女

▲身もたはまは
上人法使と
めつと小栗と

▲主は
八瀬
金持
現村



早速うけのり
あだ横山せんせが
破よ申たあつたへんと

水戸小太郎

あち種く秋那一の帯
ちが古様とをひひるは横山
道と免すまより上人あり
雅一とを十人の死ぐと
毒薬と解きさるるひ
全治の権舎とまのふ

毒酒よ
主は
お果
とを
云ふ
上人
石碑と建
全治の墓
一とある

全



小栗判官

上り
 ちりき
 びん
 大い
 横ふ
 うろ
 をま
 色し
 あり
 あり
 じり



照天姫

づき
 後
 毛ありと
 即ち
 中六
 の
 とく
 とく
 照天の
 さ
 来り
 なる
 は

の
 照天
 の
 の
 照天
 の
 の

松が
 枝
 ①
 用
 次へ



上杉安房守

一人の者
 の名も果
 我の者といふ
 名は新の
 家臣水戸の
 小幡常久と
 名のとてより
 常久の
 池野庄司
 由常流人

下まき
 己を早くも
 揚つ下より
 火と附て松
 葉の
 根火の
 びされ七
 救法より
 ののとも
 おもづ
 ちの海



下まき
 池野庄司

池野庄司
 由常流人



小栗判官
 皮肉破
 徳志
 樹の
 龍の

公元由家より白く銀を
 車とひのくゆく馬の自由
 旗は又密をとり明の
 馬又立ゆくと格をひ
 もうた徳志
 山まの

くれ後と
 くれ後と
 くれ後と



上勝鬼
 業病
 天
 照天姫

照天姫

かん力め助重
 たちまちお後なる
 花の矢射の照天
 片屋を命を救
 日とく金加は
 方回を平公命
 水戸小を命
 友公命

